

## いよいよインフルエンザシーズン到来…。最新予防食材は“納豆” 期待のスーパー納豆菌「S-903」とは！？

### ■ いよいよインフルエンザシーズン到来…。

いよいよ寒さの厳しい季節がやってきました。毎年この時期の不安ごとといえば、インフルエンザの流行ではないでしょうか。インフルエンザは、高熱/頭痛/全身倦怠感/関節痛など、かぜに比べて強い症状を発症するウイルスです。その為、免疫力の低い高齢者や子どもは特に注意が必要です。

そんなインフルエンザ対策として、予防接種が一般的ですが、今年はワクチンが不足してしまっているようです。日常からできる、基本的なインフルエンザ予防対策として、手洗い・うがいなどの対策は有名ですが、今年は身体の中から予防効果が期待できる食品が発表されました。それは日本の国民食“納豆”です。

### ■ インフルエンザ予防効果が期待される「S-903 納豆菌」

マウスを使った実験によって、スーパー納豆菌「S-903 納豆菌」がインフルエンザウイルスの増殖を抑制し、感染後にも体内での抗体生産量を高める効果があると期待されています。

また最新研究では、乳酸菌だけの摂取に比べて、納豆菌と乳酸菌と一緒に摂取することで、さらに効果が高くなることが判明しました。

(※右図1 参照)

日ごろの食事に「S-903 納豆菌」入りの納豆を摂り入れることで、身体の中からインフルエンザ対策をすることができます。

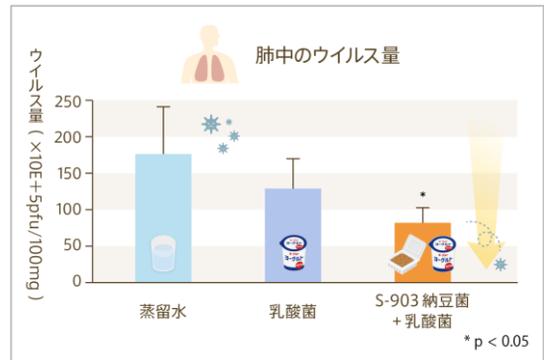


図1「S-903 納豆菌 + 乳酸菌接種後の肺中のウイルス量比較」

### ■ さらにノロウイルスへの予防効果も期待！

インフルエンザだけでなく、「S-903 納豆菌」には、ノロウイルス発症の予防と、感染後の症状を軽減する効果が期待できることが実験によって確認されました。(※右図2 参照)

ノロウイルスは、現状効果のあるワクチンもなければ特効薬もありません。スーパー納豆菌「S-903 納豆菌」にはそんなノロウイルスへの予防効果までもが期待されているのです。

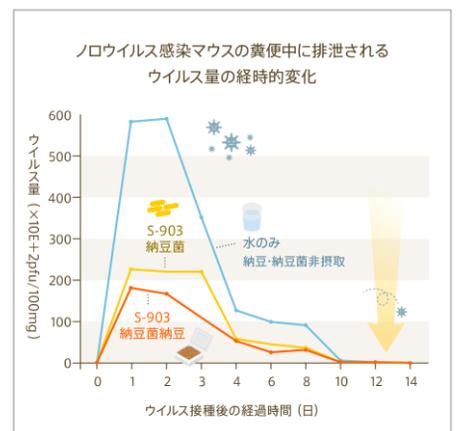


図2「ノロウイルス感染マウスの糞便中に排泄されるウイルス量の経時的変化」

### ■ おかめ「納豆サイエンスラボ」とは

古くから日本人に愛され続けてきた伝統食品の「納豆」。

おいしさや健康イメージの高さから、納豆は日本の食卓には欠かせない存在であり海外からも注目され始めています。そして、これまで漠然と体にいいと思われていた納豆の健康効果が、最近のサイエンスの進歩で明らかになりつつあります。

おかめ「納豆サイエンスラボ」は、日本の伝統食品である「納豆」の健康価値を、第一線でご活躍されている研究者の方々の協力を得ながら、様々な角度で研究し、効果を明確化し、広く発信していくことを目的に2016年12月15日に設立いたしました。

おかめ  
納豆サイエンスラボ